

児玉のルーツ

ふるさと交流推進委員
児玉 武男 (天塩郡幌町出身)

◎児玉の由来
勾玉づくりという古代の工人は全国に分布している。いろいろの玉を造っていたらしい。玉は古代人のアクセサリーで勾玉、管玉、丸玉、棗など種々ある。古墳の中に副葬品として取められていたから今もたまにまた出てくる。その土地や工人らの住地によって玉のつく地名もいくつも残っている。

埼玉、多摩、豊玉、児玉など。表題の「児玉のルーツ」は今の埼玉県児玉郡児玉町が本拠地で全国に約五万人いるといわれ、北海道から九州の鹿児島までくまなく広まって多くの人材を輩出している。

明治の頃は児玉源太郎という不世出の戦略家、政治家を生み、日露戦役・戦勝の立役者。山口県徳山の出身である。

それから、漢学者児玉宗吾、詩人児玉花外。

昭和ではロッキード事件で耳目を集めた政財界の黒幕と言われた児玉蒼士夫。福島出身である。

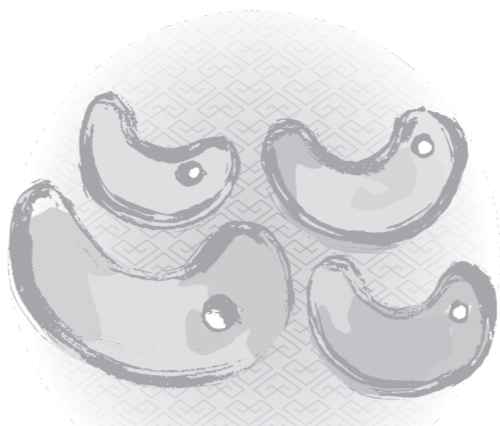
◎児玉家の由来

私が中学に入った昭和二十一年四月頃北海道稚内の家に仙台の三吉伯父さん(父の三番目の兄)がやってきました。その時初めて父が祖父らと宮城県から北海道開拓団として移住したことを知った。当時は親子で昔話をする雰囲気はなかった。父の出生地は利府郡利府町(仙台市から北へ三十キロメートルほど)で昔は梨の栽培が盛んな所だった。現在は広大なJR東北新幹線南基地となっている。

父の長男の孫の口伝によると、児玉のルーツは伊達藩の支藩(十七支藩)の馬掛りをやっていたという。後に脇陣屋、幸玉屋の娘と結婚して児玉の姓を名乗ったとされている。ルーツ探訪で平成九年と同二十三年に二度、利府町を訪れ、図書館、町役場戸籍係、菩提寺などを調べて来たがいずれも気が遠くなるような時の長さと同重味の体験だった。今年(平成三十年)と言われている。会員の皆さんのほとんどの祖先は内地の出身です。一度私のルーツ探しを試みては如何ですか。

きっと新しい発見があるとおもいますよ。

平成二十九年九月吉日 記



古里のタスキを繋ぐ道産子は
抜きつ抜かれつ
安芸路を駈ける

駅伝の選手の背の目
映きゼッケンは
海山かなた我が故郷の

林 征子 (苫小牧出身)

短歌

新会員ごあいさつ



皆さんこんにちは、札幌出身の舛田と申します。私が広島に来ましたのは昭和61年 31歳の時でした。

現在63歳になりました。人生の半分以上を広島で過ごしています。

私の奥さんは留萌の上の小平町で生まれ昔前商業を卒業しました。平昌では、北海道は北見、カー娘の活躍、十勝、小平、高木姉妹など本場に盛り上がり誇りに思いました。

今後とも故郷を応援しましょう。宜しくお願い致します。



出身は赤平市です。趣味は釣り、野菜作り、DIY、旅行です。同郷の方々北海道弁で楽しくお話が出来て、楽しみにしておりますので、よろしくお願ひします。

齋藤 孝則 (風連町出身)



北海道名寄市(風連町)出身の齊藤と申します。北海道を離れて数十年が経ちますが今でも北海道が大好きです。(広島も大好きです)(笑う)

広島道産子会の名に恥じない様に精進致しますので今後共(指導)鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

カラオケ同好会

同好会
同好会

世話人 三浦 健二 (札幌出身)

12月17日(日)JR広島駅から直結の「駅カラオケラウンジ」にて忘年会を兼ねてカラオケ会を開催しました。

参加者は男性8名、女性3名の合計11名にて実施。新曲や懐かしい歌など主に歌謡曲を中心に自分の得意の唄を披露。

中にはプロ並みの声で歌う方もいらっしゃいました。また、懐かしいお話やお互いの近況についての話で懇親を深めました。

3時間の楽しいひと時でした。

唄の好きな方ぜひ参加してみてください。楽しいですよ!!

広島道産子だより

ふるさと交流推進委員
文・安藤 友幸 (室蘭出身)

懐かしきわが故郷

『鐵の街』室蘭

「NHKのプラタモリ」という人気番組をこ存じでしょう。私の生まれ故郷がプラタモリに登場しました。

去年の11月25日(土)第91回目の放送でした。

北海道では札幌、小樽、知床、洞爺湖に次いで5番目で井上陽水作曲のテーマソングも話題になり地方ロケを受けています。

①フジテレビ系の人気番組「笑っていいとも」が終わり、その後「プラタモリ」が始まり毎回10%以上の高聴取率を保っています。

②東日本では最大の長さを誇る1380メートルの「白鳥大橋」です。無料の自動車専用道路橋で1998年に完成しました。

③戦艦「陸奥」の主砲口径41センチの一門が呉市の大和ミュージアムに屋外展示されています。山口県柱島沖の海底から引揚げられた主砲は何と室蘭市の日本製鋼所で大正9年に製造された24門内の1門です。

数奇な運命をたどり今、大和ミュージアム正面横に鎮座しています。④砂鉄精錬所から始まった日本製鋼所室蘭製鋼所は明治42年に日本初の民間兵器工場会社として操業され、「陸奥」や「長門」といった当時世界最大を誇る戦艦の主砲を製造していたのです。

何故室蘭かというと、明治25年ごろ既に鉄道が開設されていて夕張炭鉱の石炭の炭燃料(鉄を熱する燃料)が豊富であったこと、海岸に無尽蔵の砂鉄(鉄の原料)があったことからですと解説していました。

また、地球岬、金屏風に象徴される断崖絶壁の大自然による良港の立地条件も相まって室蘭を人口17万人の工業都市に発展させたのです。



年ごろ既に鉄道が開設されていて夕張炭鉱の石炭の炭燃料(鉄を熱する燃料)が豊富であったこと、海岸に無尽蔵の砂鉄(鉄の原料)があったことからですと解説していました。

また、地球岬、金屏風に象徴される断崖絶壁の大自然による良港の立地条件も相まって室蘭を人口17万人の工業都市に発展させたのです。

西条酒造の「おぼろ」を食卓に

文・布田 治 (札幌出身)



10月8日快晴、今年も酒好きの解放区が酒蔵の里、広島西条に出現した。

昼中からヨッパの叔父さんたち(を代表に外国人を含めた老若男女)が、幸せそうに千鳥足を道を歩く姿は、まさにこの世の天国。

酒広場では全国の銘酒の利き酒、8つの酒造での楽しいイベント、様々なアテイストの生ライブと楽しみ方は様々。また、お酒を飲まない人も、酔酩状態で地べたに寝転んでる人、体育座りしてポトとしている人、大騒ぎしている人、泣いている人など酒飲みのありとあらゆる生態を観察できるのもある意味楽しめるのではないだろうか。

私は今回、美酒鍋を食べたことがなかったので、それを楽しみに参加したのである。

美酒鍋は、酒蔵のまかない料理として広まったのだそう。

「びしょ」とは酒蔵の若い蔵人のこと。蔵人や杜氏は水仕事が多く、常に着物が「びしょ濡れ」であったことだそうであるが、調理の際に日本酒をびしょ濡れになるまで足して焼くので「びしょ濡れ」と言う説もあるようである。

豚肉、鶏肉、砂肝とニンニクを炒めた後、白菜、玉ねぎ、もやし、にんじん、しめじ、こんにゃく、厚揚げ豆腐、長ネギの食材を鍋にぶち込む。だし汁は無しで、お酒だけで煮込むのである。味がけが塩と胡椒だけ。ほんとに美味い。か半信半疑であった。しかし、食してみてもその美味しさに、それまでの半信半疑は綺麗に忘れてしまっていた。塩と胡椒と酒、アリである。食べるとに飲むほどに幸せ感いっぱい、只々道産子会の方々と和気あいあい、周りのことは気にせず西条酒造を十分に楽しんだのである。東広島支部の皆さん、お世話になりました。ありがとうございます。

後日、どうやって家に帰ったか思い出せないのは、アルコールとともに記憶が揮発してしまったせいなのか老人力のせいなのか定かではない。



西条酒造の「おぼろ」を食卓に

事務局よりのお知らせ

- ① 4月21日(日) 午前9時
廿日市市パークゴルフ場
パークゴルフ記念大会(第9回)開催
これを機会にパークゴルフ始めませんか
連絡先:世話人
仙野 ☎08293392103
- ② 5月20日(日) 午前10時
太田川放水路河川敷
ジギスカン祭り開催
連絡先:事務局
布田 ☎0829628567
- ③ 6月17日(日) 午前11時
メルパルク広島
北海道・九州圏県人会交流会開催
※当会が幹事県なので、多数のご参加を
お願ひします
連絡先:会長 長崎 ☎2736671
- ④ 法被が入荷しました。購入希望の方は
長崎会長までご連絡願ひします。



川柳

昔から パワー湧き出る 赤が好き
花言葉 信じて生きて 思い込み
老犬の あの温もりは 忘れぬ

中村 恵子 (札幌出身)

編集後記

平昌オリンピック、感動しましたね。とりわけ道産子の活躍すごかったですね。

女子バシュート選手は1年の内300日一緒に生活をしたそうである。300日の積み重ねに意味がある。結果としての歓喜は根気である。

昭和20年代で50歳、平成元年で3000人が今や6万7千人にもなる人生100年の現在、道産子会の皆さん、まだまだ先が長い。

歓喜を味わえるチャンスはまだまだある。要は自分の気持ち次第。

ガンバル ファンバル ホッカイドウ
そだね~ (N)

北海道・九州地区 交流会・駅伝決起大会

お正月は穏やかな天気恵まれたなか、まだおとそ気分もさめやらない1月7日恒例の北海道・九州地区交流会駅伝決起大会がアークホテル広島駅前で開催されました。

今回は沖縄県が幹事で、沖縄の伝統衣装による華やかな舞踊で幕開けとなりました。

1道8県の出席者それぞれに懇親を交わして会も盛り上がったところで、おらが駅伝チームへの期待と応援のエネルギーを各道県工夫を凝らして披露しました。

わが北海道は三上応援団長のもと、「おい、おい、北海道」に続き「ぼうばき音頭」で北海道駅伝選手に届けとばかりに氣勢を上げて会場を盛り上げたものと思います。また今回はおらがチームの順位予想をすることになり、予想が一番近かったところに次回交流会で賞品が出るということで、九州各県は駅伝メンバー構成の強み弱みの分析までして予想順位を立てていましたが、沖縄県は最下位脱出、わが北海道は夢と希望を込めて小西さんの一言「1位しかない」で決めました。賞品への執着は全くありません。長崎会長ほか6人が出席しましたが最後は沖縄名物エイサーの総踊りでお開きとなりました。沖縄県人会の参加には小学生も加わって郷土の衣装で見事に沖縄民謡を演舞していました。

うらやましい光景でした。

次回交流会(6月ころ)は北海道が幹事になります。平昌オリンピック北海道選手の活躍もあり大いに盛り上げたいものです。「ソナー」



北海道・九州地区交流会・駅伝決起大会